

伊予里 市議会だより

第30号

平成21年
(2009年)

7月



ひらめの赤ちゃん、早く大きくなってね~

(稚魚放流・たんぼほ保育園)

6月補正:5億8,809万円

補正後の予算

一般会計:205億622万円

(対前年度同期 +11億1,751万円
+5.8%)

■特集

新型インフルエンザ対策

平成21年伊万里市議会第2回定例会 会期日程

6月

開議時刻 午前10時

日	種別	内容
9(火)	本会議	開会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等 13 件……一括上程 市長提出議案等の提案理由説明 決議案の上程 決議案の提案理由説明 決議案に対する質疑 決議案の討論、採決
11(木)	本会議	議案等に対する質疑 議案の常任委員会、特別委員会付託
12(金)	休会	特別委員会（総合計画審査）
15(月)	休会	特別委員会（総合計画審査）
16(火)	休会	特別委員会（総合計画審査）
17(水)	本会議	一般市政に対する質問
18(木)	本会議	一般市政に対する質問
19(金)	本会議	一般市政に対する質問 市長提出追加議案 3 件 …一括上程 市長提出追加議案の提案理由説明 追加議案の常任委員会付託
22(月)	休会	常任委員会
23(火)	休会	常任委員会
24(水)	休会	正副委員長会
26(金)	本会議	決議案等の上程 決議案等の提案理由説明 決議案等に対する質疑 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 特別委員会報告 特別委員会報告に対する質疑 議案等の付議順序により討論、採決 伊万里・有田地区医療福祉組合議会議員の選挙 伊万里・有田地区衛生組合議会議員の選挙 佐賀県西部広域環境組合議会議員の選挙 閉会

議会ホットコーナー

◎ 議会構成

私たちの任期も後半を迎え、申し合わせ等により議会人事の交代がありました。

- ・ 副議長：内山泰宏議員
- ・ 議会選出監査委員：島田布弘議員
- ・ 委員会構成は、各委員会報告に記載

◎ 全国市議会議長会 永年勤続表彰

- ・ 勤続20年以上：浜野議員
- ・ 勤続15年以上：岩橋議員、田中議員、福田議員
- ・ 勤続10年以上：高木議員、堀議員

◎ 意見書

- ・ 教育予算の拡充を求める意見書（教育水準の維持向上を図るため、義務教育費に係る財源の確保を求める）
- ・ 中山間地域等直接支払交付金制度の継続を求める意見書（同交付金制度は中山間地域の活動に大きな成果を果たしてきた。平成22年度以降も継続されるよう求める）

◎ 委員の同意・承認

伊万里市固定資産評価員 前田和也氏
人権擁護委員 井之一行氏



議案質疑

市民への マスク配布

質問 新型インフルエンザ対策として、マスク60万枚を購入し、市民に配布する予算が計上されているが、緊急時の対応や、市としてやるべきことの優先順位に疑問がある。配布方法やタイミングはどのような考えているのか。需要費としての支出なら、マスクに限定しなくても良いのか。

答弁 市民部長

今春の流行時にマスクが品切れし、市民の間に不安感があった。市に備蓄があることで安心して頂くことが狙い。世帯の人数分毎に職員が仕分けをし、配布については区長会に相談したいと考えている。タイミングは、県あたりでの流行の兆しがあった場合に、医師会や県保健福祉事務所などと相談して決める。マスクの配布を考えているが、需要費なら支出可能である。

新型インフルエンザ対策

今春、世界中を騒がせた新型インフルエンザ。その後、県内でも患者が確認され、海外渡航歴がない人でも感染…など、不安が募ります。そこで、伊万里市が行っている対策についてまとめてみました。行政がすべきこと、個人にできることについて考えてみましょう。

①行動計画の策定

副市長をトップとする感染症等予防対策連絡会議において作成中。

②発生時対応のための備蓄等

部 署	種 類	数 量
市 役 所	感染症防護具セット	1,120セット ※1
	感染予防マスク	8,300枚
	使い捨て手袋	2,000枚
	手指消毒液 (1000ml)	63本
	市民配布用マスク	60万枚
市 民 病 院	感染症防護具セット	1,110セット
	感染予防用空気清浄機	3台
	感染予防マスク (来院者用を含む)	14,000枚
消 防 本 部	感染症防護具セット	989セット ※2
	感染予防マスク	2,000枚
	手指消毒液、次亜鉛素酸ナトリウム、消毒石けんなど	
市立幼稚園、小中学校	マスク	全児童生徒教職員 5日分
	手洗い用薬用石けん	5日分

※1 防護具セット：ゴーグル・キャップ・業務従事者用マスク・ガウン・手袋
市民病院、消防では、ズボン・シューズカバーも。

※2 総務省消防庁「新型インフルエンザ対策用資器材の充足率の考え方」から算出すると充足率51%であるが、セットの使用期限が3年間（ゴムの耐久期間）とされているため、一度に揃えるのではなく状況を見ながら補充する。

★市民の皆さんへ

①「手洗い・うがい・マスク（咳エチケットを守る）」はもちろん、万一の場合に外出しなくても良いように、食料や生活必需品等の備蓄を心がけましょう。

（大流行になった場合に2ヶ月程度続くと予想されています。そこで県は「とこてん方式：使ったら買い足すやり方」で、まずは2週間分の備蓄をするように呼びかけています）

②ちょっとでも不安があったら、発熱コールセンター（☎0120-82-1025）へ相談しましょう。

議会運営委員会

5月の臨時議会から新メンバーとなりました。議会運営委員会はこれまで3常任委員会から代表3名の計9名で運営されてきましたが、今後は、常任委員会代表ではなく、「会派」代表に移行すべきとの意見が出され、これまでも同委員会で審議してきましたが、その結果、会派運営に移行すべきとの結論を得て、全員協議会で承認されたことから、これからの議会運営については、会派制による運営に

つき本格的な協議に入ります。しかし、市制施行以来、同委員会の委員は常任委員会から選出して運営されてきましたので、会派制に移行するためには相当の論議が必要なことから、約1年かけて論議し、次の年から試行的に実施する計画です。

◎占野 秀男 ○前田 久年 松永 孝三
船津 賢次 樋渡 雅純 高木 久彦
岩橋 紀行 田中 啓三 福田 喜一

総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

当委員会に付託されました、条例議案及び一般会計補正予算について審査の結果、原案の通り可決すべきものと決定いたしました。

主な審査内容は次の通りです。

「消防本部」

事業費：224万7千円

新型インフルエンザの感染拡大時において、救急搬送に際し傷病者と接する救急隊員への感染防止に対応するため、感染症防護具セット等の備蓄を行う。在庫を含め約1,000セット準備。

「建設部」

一般議案：公有水面埋め立てによってあらたに生じた土地の確認について、字の区域の変更に。(黒川町福田字米島及び字汐干崎地先)現地視察を行い、伊万里土木事務所の担当職員から説明を受け確認をした。

「政策経営部」

一般会計補正予算(3号)についてのうち歳入全款：6,201万4千円

今回は、補助事業や感染症予防事業・商店街活動強化事業・伊万里牛PR事業・体育施設管理事業及び地域活性化・生活対策臨時交付金で造成したまちづくり基金に対応する事業の確定に伴う補正。

一般会計補正予算(4号)についてのうち歳入全款：5億2,607万5千円

国の経済危機対策に係わる補正予算が平成21年5月29日に成立し、安全・安心の実現など地域活性化等資するために創設された臨時交付金を活用した事業費。

諸支出金

事業費：107万3千円

新型インフルエンザ対策として、市民病院

へ感染症病床確保に要する経費、感染症防護具セット・マスクと感染予防用空気清浄機。

「総務部」

一般会計補正予算(3号)についてのうち

歳出：総務費

事業費：210万5千円

消費生活相談事業、国は消費者庁設立を受け、地方消費者行政活性化のための交付金を創設し、「佐賀県消費者行政活性化基金」を造成しました。これを受け、消費生活相談業務等の強化を行う。

- ①消費者被害防止のための啓発パンフ配布
- ②消費生活相談業務委託料(週3日～5日へ変更)
- ③消費生活相談用事務用機器購入

一般会計補正予算(4号)についてのうち

事業費：288万4千円

行政情報提供事業として、CATVデジタル放送用緊急情報放送機器整備を行う、2011年(平成23年)の地上デジタル化に対応させるための審査を行った。

公有水面埋め立てについては、完成から登記まで余りにも時間が掛かり過ぎたのではとの意見が出た、また消費生活相談事業については、市民全体に認識が必要であるが特に高齢者の被害防止、対策が急がれる。



現地視察(黒川町福田)

◎前田 儀三郎 ○山崎 秀明
前田 教一 松永 孝三 高木 久彦
占野 秀男 盛 泰子 浜野 義則

文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、
教育委員会、市民病院

当委員会に付託された条例議案1件、補正予算議案2件、病院事業特別会計補正予算議案1件について慎重審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

伊万里市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例等の一部を改正する条例については、高額医療・高額介護合算制度の開始に伴い、改正する必要が生じたからです。現行制度では、医療費が高額になった場合は国保や健保などの医療保険から月額限度額を超える分が「高額療養費」として支給され、介護サービス費用が高額になった場合は介護保険から月額限度額を超える分が「高額介護サービス費」として支給されていますが、さらに自己負担額を軽減するために、同じ世帯で医療費と介護サービス費の両方の自己負担が高額になった場合に、両方の制度の自己負担限度額を適用したうえで、それぞれの自己負担額を合算し、定められた年額の限度額を超えた分が高額介護合算療養費として支給されることとなっています。ただ今回の改正が非常に複雑な上、自己申告ではもれが生じ、市民にとって不平等ではとの指摘がなされましたが、年間を通し対象者へもれなく軽減の通知をするとの答弁に理解を示したところですが、又後期高齢者への説明不足とのことで、対象者については広域連合で処理をするとのこと。



現地視察（病後児保育・マザーズハウス）

保育所分園推進事業については、現在伊万里市内にあっては、西部地区に民間保育園が

集中しており、少子化が進む中で統合や分園方式など検討されていますが、地域の声や、現況を十分に把握し、慎重な対応を望むとの意見が出された。

母子家庭自立支援給付金については、経済不況のあおりで伊万里市も他市同様母子家庭の母親の就業機会が益々減少しています。資格取得を促進するための助成制度は大変歓迎される場所であるが、制度そのものを承知していない市民も多く、事業の周知徹底を促したい。

環境センター管理運営費については補正4000万円が計上されている。同センターは築27年を経過し、老朽化が進み西部地域広域ゴミ処理センター完成を待つまでもなく、毎年多額の維持改修費が必要とされている。ここ数年のゴミ量の推移をみても、家庭ゴミは横這いか減少しているものの、事業系ゴミが増大していることは見逃すことはできない。行政からの事業者への注意を促した。



現地視察（松浦町・新環境センター予定地）

今回多くの意見がよせられたのは新型インフルエンザ対策費についてであります。安全対策のためにマスク購入費など420万円、公共施設での消毒や市職員の防護服等総額800万円を超える予算が計上されています。一部マスクの着用を疑問視する意見もありましたが、現時点での備蓄対策と理解を示したところですが、願わくば市民がマスク着用の機会に遭遇しないことを望むところです。

◎笠原 義久 ○草野 譲
内山 泰宏 船津 賢次 前田 久年
樋渡 雅純 島田 布弘 下平 美代

産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、水道部

当委員会に付託された条例議案3件と一般会計補正予算議案1件、一般会計補正（追加）予算議案1件について慎重審議の結果、原案通り可決すべきものと決定しました。

伊万里市水道事業及び工業用水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例については、第4工業用水道を本市の工業用水道の施設に追加するものであり、伊万里市工業用水道料金及び手数料条例の一部を改正する条例については、第4工業用水道の開始に伴い、その使用に係る料金を定めるものです。

伊万里市中小企業振興資金貸付けに関する条例の一部を改正する条例について、緊急経済対策として、市内中小企業の資金調達を円滑にするため、市内中小企業振興資金貸付けの原資となる預託金を増資し、貸付条件を拡充するとともに、市内中小企業の経営及び設備投資に必要な資金の貸付を受ける際の保証料を補填するものです。

産業部関係では、伊万里牛のブランド確立を図るため、子牛から一貫生産する体制づくりに資するため、伊万里産伊万里牛購入促進事業費補助金を新設するとともに、伊万里牛共励会を開催します。また、伊万里牛PR事業は、全国に広くPRすることを目的に各種イベント等を行うものです。

建設部関係では、市道整備事業の市道改良事業については、地域活性化・生活対策臨時交付金を活用して、次年度計画を前倒して実施します。その他交通安全施設整備事業や河川局部改修事業の説明を受け、議論しました。

次に、追加補正予算議案の産業部関係では、強い園芸農業確立対策事業の園芸農業の振興

のため、農業者で構成する営農集団等が行うハウス施設や省力化機械等の整備に支援を行うものです。他にため池災害防止事業や農地有効利用支援整備事業などが追加されました。

建設部関係では、道路維持事業で、市内全域に係る市道の維持管理費に追加するものです。また伊万里川・幸橋景観事業「古伊万里文化の香るまちづくり」をテーマに景観整備を行うものです。

なお、第4工業用水道事業貯水施設、浄水施設の状況について現地調査を行いました。想定外の矢板のたわみにより、追加補正予算を組んで対応してきましたが、その後の工事は順調に進み、すでに6月12日より総合試運転を実施。浄水場管理棟では、有田川取水地点を始め主要ポイント箇所がモニター画像によって監視されています。以上のような状況説明を受け、供用開始を控えて万全の準備が進められていることを確認しました。残された波返し工も10月末完成を目指して急ピッチで進められており、今後の順調な給水運転を期待します。



現地視察（第4工業用水道貯水池）

◎堀 良夫 ○松尾 博幸
松尾 雅宏 多久島 繁 渡邊 英洋
岩橋 紀行 田中 啓三 福田 喜一

総合計画審査特別委員会

特別委員会設置の経緯

伊万里市では、平成21年度を初年度とする「第5次総合計画」策定の作業を行ってきました。一方、地方自治法第2条の規定により総合計画のうちの「基本構想」のみが議決事項ですが、5月の臨時会において同法第96条2項にある議決範囲を「基本計画」にまで広げる条例を制定し、今議会での審査に備えてきました（市議会だより第29号 議会運営委員会報告参照）。そこで、新たに総合計画審査特別委員会を設置し審査しました。当議会で特別委員会が議案の付託を受けて審査するのは珍しいことです。

第5次伊万里市総合計画とは

- ・ 計画年次：基本構想 平成30年度
基本計画 前期計画5年（平成21～25）、後期計画5年（平成26～30）
実施計画 3年とし、財政状況の変化等に対応しつつ毎年見直し
- ・ 基本理念：「市民との協働による安心と豊かさの創造」
- ・ 将来都市像：「活力あふれ ひとが輝く 安らぎのあるまち 伊万里」
- ・ 5つのまちづくりの目標
 - (1) 安心で健やかな暮らしづくり
 - (2) 創造的で心豊かなひとづくり
 - (3) 活気あふれる産業づくり
 - (4) 安全で快適な地域づくり
 - (5) 自立と協働のまちづくり

審査概要

企画政策課から序論および40施策ごとに、基本構想、基本計画の内容説明を受け、質疑は各担当課が受けるという方法で進め、活発な問題提起がなされました。その後、論点を絞って委員間討議を行い、4ヵ所について加筆・修正することに決定しました。

修正内容

- ①**基本構想 第2章における「市民協働」**の表現を、市民との協働、および「協働」に修正。これは伊万里市で平成5年（1993年）頃から使用され、市民が主役のまちづくり条例で定義した「協働」の意味を尊重し、この2ヵ所以外での用法との整合性を図るものです。
 - ②**基本計画 施策3 障害者支援の充実**に記されている表現の修正。これは、妊婦・乳幼児健診の目的が「障害の発生を予防するため」とされており、断定的な捉え方をすることは適当ではないためです。
 - ③**基本計画 施策14 文化財の保護と活用**に、「伊万里の文化財等を保存・活用し、情報発信する博物館・美術館についての調査研究を進めます」を加える。これは、伊万里に相応しい博物館・美術館についての調査研究は続けるべきだとの意見によるものです。
 - ④**基本計画 施策18 工業の振興**に「内陸部及び臨海部の工場適地の調査研究を行う」を加える。これは臨海部の工業団地がほぼ完売した中で、伊万里湾総合開発や更なる企業誘致のためにも、内陸部とともに臨海部についても新たな工業適地の調査研究を行っていくべきだとの意見によるものです。
- ※この他、商業の振興に関しては、中心商店街に特化された内容であり、市内全体の商業振興を考えるべきだとの意見がありました。



審査風景（議会・全員協議会室）

- | | | |
|-------|--------|-------|
| ◎盛 泰子 | ○高木 久彦 | 内山 泰宏 |
| 多久島 繁 | 船津 賢次 | 渡邊 英洋 |
| 草野 譲 | 山崎 秀明 | 岩橋 紀行 |

一 般 質 問 (質問順)

一 般 質 問 事 項

議員名	質 問 事 項	議員名	質 問 事 項
高木 久彦 (一問一答)	1. 伊万里名物トンテントン祭りについて 2. 一般質問事項に対する市の対応について	草野 譲 (一問一答)	1. 新病院建設について (1)開院の時期について (2)もし開院が延びる事になった時、メリット、デメリットの部分で、財政健全化計画の中身の変化について (3)今回の補正予算(交付金)取得について (4)社会保険浦之崎病院の地域医療機関としてのこれからの医療関係構築について (5)用地費の増額について (6)用地交渉の遅れの原因と説明責任について 2. 「伊万里サステイナブル・フロンティア知的特区」のその後について (1)今日までの成果、達成度について (2)目標達成が出来なかった原因と理由について (3)国の施設や産業界と佐賀大学の共同研究施設等の設置誘致について (4)東京都において沖ノ鳥島周辺に温度差発電装置の建設構想の話があっていたが、その後の取り組みは
樋渡 雅純 (一問一答)	1. 災害時の被災者支援システムの活用 (1)被災者等の情報管理 (2)システムへの対応と課題 2. がん検診事業の取り組み (1)検診の現状 (2)検診の無料クーポン券 (3)検診率50%への取り組み		
多久島 繁 (一問一答)	1. 新型インフルエンザにおける市の取り組み方について 2. 市内保育園の保育料及び入園手続き(求職中)について		
占野 秀男 (総括)	1. スポーツ振興対策(施設、指導員など)について 2. 県営事業負担金の対応について 3. 市道の計画的整備について	盛 泰子 (一問一答)	1. 土地開発公社について (1)情報公開要綱の内容 (2)保有土地履歴の公開 (3)伊万里市情報公開条例の改正 2. 大規模な留守家庭児童クラブについて 3. 使用済み核燃料中間貯蔵施設について 4. 選挙における法令遵守について
船津 賢次 (一問一答)	1. 県道伊万里山内線の拡幅工事に伴う市道の通行について 2. 元気バス(東山代町)の利用促進のために		

トントン祭について

高木 久彦

質問 伊万里の祭りを代表するトントン祭は、平成18年の大事故発生以来休止状態にあるが、今後の見通しは。

答弁 産業部長 奉賛会では、四つの分科会で対応が検討されている。

特に、第3分科会では、祭りの安全対策について精力的に協議がなされており、近々報告書がまとまる予定である。
又、秋祭り振興会では、「みんなで語ろう伊万里トントン祭」として意見交換会が開催され、その結果を奉賛会へ提出されることになっている。現時点における再開は判っていない。
答弁 市長 意見交換会では、いろいろな意見を出してもらった。

祭りというのは、市民の心を一つにするものであり、十分な安全対策がとられるならば、再開されることを望んでいる。

一般質問に対する市の対応は

質問 議員が行う一般質問事項は、市民の意見や要望を代弁したり、政策を提言するものであるが、これについて市はどう対応されているのか。

答弁 政策経営部長 直ぐに対応出来るもの、出来ないもの、法規制で困難なものなどに区分して各課で取組むことにしている。担当が異動しても確実に受継ぎを行うことにしている。

答弁 市長 一般質問は、全て問題事項として捉え、現状、課題、進捗状況等議会毎に対応を記録している。法的なもの、財源的なものなど問題点のある中で、出来るだけ実現に向け努力したい。

がん検診事業

樋渡 雅純

質問 ①伊万里市の受診率は県平均を下回っている。受診者の設定は指針に沿っているか。②各検診での検査項目はどうか。

答弁 市民部長 ①肺、胃、大腸、子宮がんについては40歳以上、乳がんでは20歳以上で、指針どおり設定している。

②指針どおり行っている。特に独自の取り組みとして前立腺がん検診をH4年から行っている。子宮がん検診ではH17年から毎年受診できるよう務めている。

質問 国は今年度交付税措置として、がん検診事業へ2倍の予算を増額している。休日、夜間の検診や検診回数が増など受診率のUPの方法をこの機会に考えるべきでは。

答弁 市民部長 個別検診では今年度から乳がん検診でも始める。今後胃、肺、大腸がんについても協議を行っていき、検診回数が増など利便性や受診率の向上に努める。

無料クーポン券

質問 新経済対策に女性がん対策が含まれている。子宮頸がん検診で20歳〜40歳、乳がん検診で40歳〜60歳の各5歳刻みの方に、クーポン券の配布となる。①配布時期と有効期限②検診機関は③施行の基準日はいつか。

答弁 市民部長 ①9月に予算計上し10月頃配布したい。発行から6ヶ月有効②集団、個別いずれかで可能。県内外全てに対応して行きたい。③施行日は4月1日からで、子宮頸がん乳がん検診を受診された人には負担料は返還し対象者には、今後無料で行う。

新型インフルエンザ対策

多久島 繁

質問 新型インフルエンザ発生時における、市の初動体制の執り方はどうなっているか。

答弁 市民部長 市長が発声宣言をし、行動計画にそって行うが、現在行動計画の素案を作成中。

質問 市民が使えるタミフルの備蓄はどこにあり、どのくらいの量があるのか。

答弁 市民部長 どこに保管されているかは公表されていないが、市民の50%は確保できる。
質問 市民にマスクを配布するとのことだが、どんな状況時に配布するのか。
答弁 市民部長 状況を見極め市長が判断し配布する。
質問 全市民にマスクを配布するということをやめ、大事な時に使うため、市で

一般質問

一般質問

備蓄しておくことはできないか。

答弁 市長

専門家の意見を聞くのが筋と思うし、市民の安心確保のため配布する。

保育料について

質問 保育料が7階層あり、課税される世帯の4階層の内4万円未満で1階層、4万以上10万3千円未満で1階層等があるが、この2階層だけでも保育料を納めやすいように所得に似合った保育料にするよう細分化の考えはないか。

答弁 市民部長

平成13年に保育料の公平感から現階層になった、現在の保育料を変える考えはない。

質問 現在、入園承諾期間は2ヶ月間だが、求職活動をする人の便宜のために、3ヶ月間に延ばすことはできないか。

答弁 市民部長

一時保育のPRをすると共に、今後は3ヶ月間に延長したいと考えている。

スポーツ施設について

占野 秀男

質問 国見台市民プールは休止しているが、今後の活用計画はどう考えているのか。また新しい楽しむスポーツが多種多様あるが市民への指導はどうするのか。競技人口の一番多いグラウンドゴルフの公認コース設置計画は以前から要望しているがどうなっているか。

答弁 教育長

当面幼児や学童用のプールは開放を検討したい。新スポーツは各地区の体育指導員さんの研修、指導をお願いしたい。

公認グラウンドゴルフ場は、旧黒川中跡に計画したが地元の都合で駄目になった。今後も引き続き検討していきたい。

直轄事業負担金について

質問 直轄事業負担金の廃

止を含む見直し要望が出ているが、古川県知事はどのような考えか。また同じような「県営事業負担金」の実態はどうか。

また市長はどのように考えているのか

答弁 建設部長、産業部長

各種事業負担金は、土木関係、農林関係で約1億円弱ある。

答弁 市長

知事も負担金については見直しを求められていると理解している。県営事業負担金については、県内市長会で負担額を取りまとめ、県に申し入れたいと考えている。

市道の計画改良について

質問 白野く古賀線「山田橋」の早期改良と、公園橋線の栄町地内は最初の舗装から35年が経過、劣化して通行や交通安全上問題も多い。早急な改良を計画的に。

答弁 市長

ご指摘の箇所については、緊急度もあり早急に計画を具体化したい。

県道伊万里山内線の拡幅に伴う市道の通行について

船津 賢次

質問 県道の拡幅工事に伴って、六仙寺地区への出入り口の形状が変わり、以前より通行しにくくなったとの苦情が寄せられていたと思うが、どうしてこうなってしまったのか。県との事前の協議はなされたのか。今後の対策は。

答弁 建設部長

関係者の意見を聞き対応したい。

元気バス（東山代町）の利用促進のために

質問 ①元気バスは4月に運行を開始し3カ月になろうとしている。利用者からは「時間がかかりすぎる」「ぐるぐる回って具合が悪くなる」「近くのスーパーへの買い物に待ち時間が長

く片道しか利用できない」「MRとの連絡は待ち時間が長い」などの苦情も寄せられている。利用促進のためには、こうした苦情・要望に耳を傾け改善する必要があると考えるが。②立派に整備された既存のバス停が利用できないのはどうか。③既存のバス路線が通行できないのはなぜか。

答弁 産業部長

①協議会では10月に見直しを計画されている。その中で今言われたようなことも協議されると思う。②道路交通法第44条によって利用できない。③貸切バスであるので既存のバス路線は通行できない。



一般質問

新病院建設について

草野 讓

質問 平成23年4月の開院に向けて準備が進められているが、今6月現在でも用地の交渉は済んでいない。造成工事に半年、病院本体工事に1年半掛かると2年の工期が必要だが、果して今の進捗状況で平成23年4月の開院に間に合うのか。

回答 公的病院統合推進室長 用地取得の遅れがあるが事務手続の敏速化、工事手法の見直し、工期の短縮等を図り間に合うよう努力して行く。

質問 用地交渉の遅れた原因は何か。
回答 市長 地元の人達とも何回となく会合を重ね岩永町長も出向いているが、只その中で一人の人が代替地の問題があり基本計画通り進んでいない。この事を早急に審議する様有田町長と検討し、

然るべき時期に推進協議会を開き正式に協議をしなければ成らないと思う。

質問 予算の件でお伺いをする。当初、用地費として4億円を計上されていたが21年度は4億3千万円と3千万円増えた予算となつていくがなぜなのか。

回答 公的病院統合推進室長 新たに取付け進入道路の土地代と造成費用が増えた事による予算計上になっている。

知的特区について

質問 平成15年11月、本市が認定された伊万里サステイナブル、フロンティア知の特区のその後が見えてこないがどの様な展開になっているのか訊ねる。

回答 政策経営部長 規制緩和と企業創出を目的に佐賀大学海洋エネルギー1研究センターを核に取組んでいる。10件程度の共同研究も行われ関連企業の誘致も行われている。
(一部割愛)

土地開発公社の情報公開

盛 泰子

質問 ①平成20年度に情報公開要綱を策定されたが「不服申立て」に関する条項がなく不十分。理事会での議論は②西九州道等の事業のために当面、公社を存続するとしても、保有土地の情報や理事名簿などを積極的に公開すべき。

回答 建設部長 ①不服申し立てに対応する審査会の常設がネックとなり、その条項を入れていない。理事会では特に議論になっていない。②公社の情報公開についてはホームページを活用して実施する。

大規模な留守家庭児童クラブ

質問 来年度から71人以上
回答 総務部長 不服申し立てがあつた場合、市の情報公開審査会で審査して頂けないか協議する。

のクラブには国からの補助金が来ない。伊万里クラブと立花クラブはどうするか。

回答 教育部長 伊万里クラブには2部屋あり、それぞれに指導員を置いて分離。立花クラブはミーティングルームを使用して分離の予定。

質問 伊万里クラブは別現場所を求めべき。指導員との意見交換や、夏休み中、雨の日の状況把握を要請する。

回答 教育部長 学校とも協議する。

核燃料中間貯蔵施設

質問 玄海町長は誘致に積極的な姿勢だが、市長はどのように感じているか。

回答 市長 大変驚いている。伊万里市は10キロ圏外で、モノが言えない状況にあり、玄海町と県・唐津市との連携があつてこそだと思ふ。伊万里市への配慮が足りないのではない。場を捉えて発言したい。
(一問省略)

交通網・港湾・企業誘致対策調査特別委員会

市民生活の向上のため、西九州自動車道早期完成の促進、伊万里港インフラ整備の促進、優良企業の誘致推進等に関する調査活動を行う。

◎渡邊英洋、○多久島繁、松尾雅宏、山崎秀明、島田布弘、笠原義久、前田儀三郎

地域医療・環境施設整備対策調査特別委員会

県西部保健医療圏における医療提供体制や地域の中核的医療機関となる統合病院、既存施設の老朽化に伴う新たな一般廃棄物処理施設の整備等に関する調査活動を行う。

◎下平美代、○盛 泰子、内山泰宏、松尾博幸、草野 讓、堀 良夫、浜野義則

議会選出 一部事務組合議会等議員

広域連合・一部事務組合議会	議員名
佐賀県後期高齢者医療広域連合議会議員	前田教一
佐賀県西部広域環境組合議会議員	内山泰宏・笠原義久・(前田和人)
伊万里・有田地区医療福祉組合議会議員	前田教一・内山泰宏・浜野義則・ 樋渡雅純・船津賢次・堀 良夫
伊万里・有田地区衛生組合議会議員	前田教一・高木久彦・前田儀三郎 前田久年・島田布弘・松尾雅宏 岩橋紀行・田中啓三

編集後記など



風鈴まつり (大川内山 8/31まで開催中)

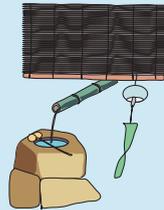


梨選果場 (南波多町)

暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法の規定により、選挙区内の皆さんへの金品を伴った初盆のお参りや、時候のご挨拶には制限がありますので、失礼させて頂きます。

議員一同



編集後記



議会だよりの発行に携わるメンバーが、新しくなりました。

2年ごとに常任委員会と特別委員会の編成替えがあり。その折に原則として各委員会の副委員長が編集委員になるようにとの合意により選ばれて

(つ)役に就きます。

年4回の発行で、大抵月末の議会終了後に、一般質問および各委員報告の原稿を早期に集めるとともに、特記すべき議案質疑事項とか、その時々に応じた旬の話題(ホットコーナー)とか、人事事項、他市からの視察状況など、12ページから16ページ建てに配置してパソコンに入力し、印刷業者渡しとなります。その後で数回の校正をしながら仕上げとなりますが、

手間のかかる大変な仕事です。これを全部議員だけで行います。

特に配慮していることは、市広報と違って議員目線で見ると、感じたことを記事にするよう腐心しています。

こうして出来上がった議会だよりですので、どうか皆様にはご一読の程よろしくお願ひします。

(山)

編集委員

◎山崎 秀明○多久島 繁

前田 久年 草野 謙

松尾 博幸 盛 泰子

顧問 内山 泰宏 占野 秀男

樋渡 雅純

発行

伊万里市議会

伊万里市立花町一三五五一

☎0955-2312111

☎0955-2211277

E-mail:gikai@city.inari.jp

編集

市議会だより編集委員会

印刷 山口印刷株式会社